

瑞宝単光章 The Order of the Sacred Treasure, Silver Ray
〔消防功労〕



鈴木 千代吉さん(長磯浜・71 歳)

被害の軽減と団員の安全を第一に

昭和43年に市消防団に入団して以来、昨年5月に退団するまで、40年以上にわたり、地域の生命財産の保護と被害の軽減に努められました。平成8年に第7分団分団長に就任後は団員の指導育成に尽力。平成14年には合併前の市消防団副団長に就任し、団長を助けながら唐桑町との合併時における消防団組織の改編や統合に奔走しました。鈴木さんは「受章は先輩や地域の皆さんの協力や支えのおかげ。記憶に残る災害も多いですが、厳しい訓練を経て迎えた昭和50年の宮城県消防操法大会で、第7分団が総合優勝したことは良い思い出です。現場では被害の軽減と団員の安全を第一に行動してきました。先輩から教わった団結や輪を重んじる心を大切に、後輩たちも防災活動に取り組んでほしいですね」と話してくださいました。

若い方もぜひ投票に参加を

昭和61年から、恩師の勧めで旧気仙沼市明るい選挙推進協議会常任委員を務め、平成2年に同副会長に、平成4年からは同会長に就任。現在も、明るく正しい選挙の実現と棄権防止に尽力されています。また、平成4年からは宮城県明るい選挙推進協議会委員を務め、平成17年に同副会長に就任。平成18年には同会長に就任し、市内はもとより宮城県内の明るい選挙運動の先頭に立ち、現在も、各市区町村連携強化などに積極的に取り組まれています。熊谷さんは「受章は、長年にわたり、明るい選挙の推進に携わったご褒美であり、関係者のご協力や内助の功に感謝しています。民主主義の基本は選挙。自らの意思を政治に反映させる大事な権利です。若い方ももっと投票に参加してほしいですね」と話してくださいました。

藍綬褒章 Medal with Blue Ribbon
〔選挙関係事務功労〕



熊谷 富夫さん(本浜町二丁目・84 歳)

技能功労者・教育功績者表彰

24 人を表彰

技能 功労者表彰

【五十音順・敬称略】

- 一戸 和敬さん(木製建具製造工・72 歳)
- 小川 明さん(塗装工・58 歳)
- 小野寺 和子さん(理容師・59 歳)
- 小野寺 嵩男さん(建築大工・62 歳)
- 熊谷 東一さん(建築大工・61 歳)
- 軍司 和啓さん(自動車整備工・61 歳)
- 小室 昭一さん(畳工・67 歳)
- 千葉 和利さん(建築大工・65 歳)
- 千葉 敏行さん(木製建具製造工・62 歳)
- 平野 利勝さん(左官・74 歳)
- 山口 庄平さん(がん具(木製)工・97 歳)

教育 功績者表彰

【五十音順・敬称略】

- 阿部 弘康さん(前市教育委員会教育長)
- 尾形 順一さん(前市体育指導委員)
- 尾形 多志雄さん(前塚沢神楽保存会副会長)
- 小野寺 純一さん(前面瀬小学校校長)
- 小原木 純子さん(前市体育指導委員)
- 熊谷 春男さん(前鹿折小学校校長)
- 鈴木光 則さん(前唐桑小学校校長)
- 千葉 功さん(本吉町ソフトボール協会事務長)
- 畠山 哲衛さん(前羽田芸能保存会会長)
- 本田 恵一さん(前市体育指導委員)



秋の叙勲・褒章 受章者紹介

本市から 5 氏が受章されました

このほど、平成22年秋の叙勲、秋の褒章受章者が発表されました。本市からは、叙勲では、旭日双光章が1人、瑞宝双光章が1人、瑞宝単光章が2人、褒章では、藍綬褒章が1人と、合計5人の方が、長年の功績を認められ受章しました。

旭日双光章 The Order of the Rising Sun, Gold and Silver Rays
〔保健福祉功労〕



大里 篤志さん(南郷・78 歳)

愛と優しさで地域医療に尽力

昭和32年に東北大学附属病院に勤務後、昭和33年から公立気仙沼総合病院(現気仙沼市立病院)の第三内科(胃腸科)で地域住民の診療に当たり、昭和45年、大里胃腸科内科医院を開業。以来、学校医や警察医も務めながら、社団法人気仙沼市医師会会長などを歴任。半世紀以上にわたり献身的に患者の治療に当たりながら地域医療の推進と発展に尽力されています。大里さんは「受章は先輩や同僚、職員の代表として受章したものと考えています。他界した妻も喜んでいてのことでしょう。医療を通じて多くの方と出会い、最善を尽くしても救えなかったつらさも経験しましたが、医療技術が進歩しても、患者に対する愛と優しさは忘れずにいたいと考えています。今後も地域の皆さまの治療と健康増進に励みます」と話してくださいました。

再就職の支援活動にも貢献したい

昭和60年に保護司の活動を開始し、平成4年に気仙沼地区保護司会理事、平成12年には同会会長に就任。また、同年に宮城県保護司会連合会理事、平成20年には同会副会長に就任し、社会奉仕の精神と人間愛に徹しながら、更生保護事業の充実、発展に強いリーダーシップを発揮。現在も、保護観察対象者の改善・更生に取り組み、青少年の育成や犯罪予防活動に力を注がれています。尾形さんは「関係者や家族の支えがあつての受章だと感謝しています。罪を反省し立ち直ろうとする人を25年支えてきましたが、いつも初心を忘れず、相手の気持ちや個性を引き出すことを心掛けています。保護司の必要がない世の中が理想ですが、保護観察者の再犯率が4割以上あるのも現実。更生を目指す方の再就職活動にも貢献したいです」と話してくださいました。

瑞宝双光章 The Order of the Sacred Treasure, Gold and Silver Ray
〔更生保護功労〕



尾形 耕一さん(南町二丁目・73 歳)

瑞宝単光章 The Order of the Sacred Treasure, Silver Ray
〔消防功労〕



佐々木 勝男さん(本吉町猪の鼻・71 歳)

地元の災害を減らすことに全力を注ぐ

昭和44年に本吉町消防団に入団し、平成21年8月、市町合併と同時に退団するまで、40年の長きにわたり、一身を消防活動や団員の教養訓練など、消防人の使命を果たしてきました。この間、本吉町消防団の副分団長や分団長、副団長などを歴任し、豊富な消防知識と経験を生かして、部下の指導などに意を尽くしてきました。受章について、佐々木さんは「これまで務めてこれたのは、会社や良き先輩・同僚のおかげであり、自分一人ではいただいたものではないと思っています」と、周囲の方たちへの感謝の気持ちを話します。「野焼きなどが原因で起きやすい4月から5月までの火災を減らすことが重要であり、それが、全体の災害の件数を減らすことにつながるのです」と、消防団として心掛けてきたことを熱く語ってくださいました。